

6章：歴史的推論：概念化と教育への応用

Historical Reasoning: Conceptualizations and Educational Applications

担当：池尻良平（東京大学大学院情報学環）

ikejiri@iii.u-tokyo.ac.jp

■著者情報

①著者名：Carla van Boxtel（アムステルダム大学 教授）

研究関心：歴史的推論、歴史の概念に関する学習など

備考：PhD で歴史教育の実践に関するプロジェクトを多数経験。

著書や論文も多く引用数も多い。詳細：<https://www.uva.nl/profiel/b/o/c.a.m.vanboxtel/c.a.m.vanboxtel.html>



②著者名：Jannet van Drie（アムステルダム大学 特任教授）

研究関心：歴史的推論と授業での効果的な応用

備考：歴史の協調学習や CSCL、可視化ツールなどの開発もしている。

Boxtel との共同プロジェクトが多い。詳細：<https://www.uva.nl/profiel/b/o/c.a.m.vanboxtel/c.a.m.vanboxtel.html>



■重要な用語

- ・ Historical Reasoning 「歴史的推論」
- ・ metahistorical concept 「メタな歴史概念」
- ・ criterialist stance 「基準に基づく評価者スタンス」
- ・ argumentation 「アーギュメンテーション」（文脈によって「議論」「論証」「討論」）

■議題

①まとまった概念だが、歴史的推論に対して何が効いているのかを分析しようとした場合、6つの構成要素間や、各構成要素と認知的／社会文化的なリソースの関係性を整理する必要があるが、どこどこが特に関連しているといえるのか

②どう著者らの 2008 年論文に比べて社会文化的なパースペクティブが入っている点が新しくなっているが、これと生徒にとっての真正性の考察が弱い。例えば、生徒にとって真正な課題となるための問いとしては、何が妥当なのか。

概要：

歴史的推論の解説と、関連研究の整理をしている章。大きく 3つのパートから構成されている。はじめに、歴史的推論はどのようなタイプや要素から構成されているかについて概念化している。次に、歴史的推論を行うにあたって生徒が用いるリソースを、認知的な側面、社会文化的な側面から整理している。最後に、先行研究をもとに、教室における歴史的推論を高めるための方法を提示している。（内容が重複するため、p.149-150 のイントロは省略）

■歴史的推論の概念化 (pp.150-155)

①歴史的推論について

- ・歴史的推論は、1990年代、歴史教育における認知的な実証研究でコアトピックになった。
- ・「歴史的推論は、継続と変化・原因と結果・歴史的な諸現象や諸時代における共通点と相違点のプロセスに関するもっともな結論に到達することを狙っている。」
- ・「そのような結論に発展させるために、生徒は、歴史的な問いかけをし、実質的概念やメタな歴史概念を用いて時間的な関係や因果的な関係を構成・文脈化し、推論過程で歴史資料の証拠を用いて議論を構築する。」(p.166-167の考察の節より引用)
- ・歴史的思考と歴史的推論はほぼ重複するが、「もっともな結論に到達することを狙った歴史的思考の諸活動を、一貫したセットの形で構成している」点が歴史的推論の強み

②歴史的推論のタイプと構成要素 (図 6.1 を参照。中心から外側にかけて説明)

- ・3つの歴史的推論のタイプ：継続と変化、原因と結果、共通点と相違点を推論すること
- ・6つの構成要素：歴史的な問いかけ、歴史的な文脈化、歴史の概念（事象や構造や人物等）の使用、メタな歴史概念（エビデンス等）、歴史資料の使用、議論の提供
- ・個人のリソース：歴史への興味、歴史の知識、歴史のメタ概念や方略の知識、認識論的な信念
- ・社会文化的なりソース：学問としての歴史、パブリックヒストリー

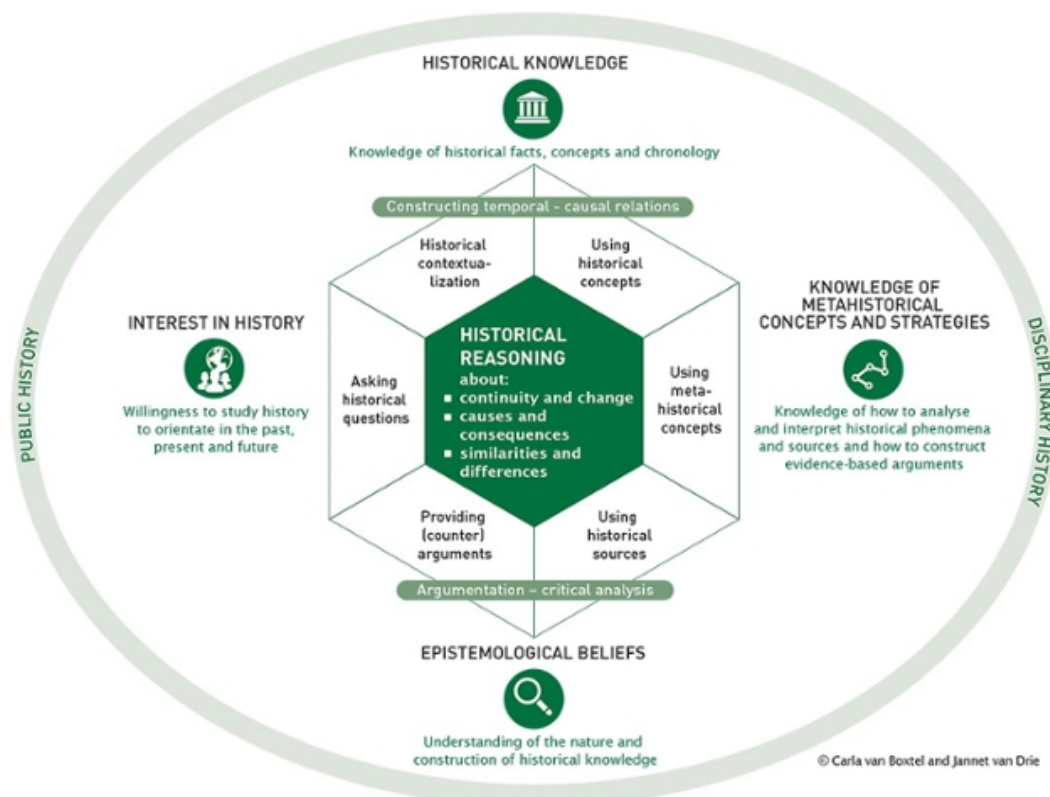


図 6.1 歴史的推論のタイプと構成、歴史的推論に対する個人および社会文化的なりソース
(画像は書籍上の図と同じものを <https://www.uva.nl/profiel/b/o/c.a.m.vanboxtel/c.a.m.vanboxtel.html> より転載)

③歴史的推論に関する研究動向

- ・多くの研究は、歴史資料を用いた作業における歴史的推論に焦点を当てている。
→歴史資料「について」の研究と、歴史資料「を用いた」研究に大別される
- ・近年では、歴史を書く能力を発達させることに焦点を当てている研究者によって、歴史的推論は概念化されたり、操作されたりしている
- ・歴史的推論の中でも、特にアメリカ合衆国では一次資料についての推論に、ヨーロッパでは変化や因果や共通点・相違点に関する主張を作るための概念や中心的な出来事に、ドイツではナラティブのコンピテンシーを強調した教育が展開されている

■歴史の認知：基礎となる知識、信念、興味 (pp.155-160)

①一次知識 (First-order knowledge)

- ・歴史的推論の質は、内容の知識と関連している。
※「一次知識」＝歴史上の出来事、構造、テーマ、概念
- ・歴史資料の学習時、歴史の文脈的な要素を選ぶ際に内容の知識が役立つことが示されている

②メタな歴史概念と方略知識

- ・歴史の二次概念(＝メタな歴史概念)は学問の構造の定義を助ける、より高次の概念
→evidence, change, empathy, historical significance など具体例は多数提唱されている
- ・歴史的推論の質と関連している二次概念もあるが(複数の歴史文書や因果など)、全ての二次概念が等しく歴史的推論の質に関連しているわけではない(メタな歴史概念など)

③歴史についての認識論的な信念

- ・より進んだ認識論的な認知は、より進んだ思考や推論に良い影響を与える
- ・歴史の場合、3つの認識論のスタンスがある：1) 模倣者スタンス、2) 主観主義者スタンス、3) 基準に基づく評価者スタンス (criterialist stance)
- ・Maggioni ら (2004, 2009) は認識論的な信念と歴史的推論の能力の関係性を調査するための質問紙を開発している

④読解スキルと論述スキル

- ・読解スキルはテキスト化された歴史的推論を批判的に評価する際に必要になる
- ・歴史について書くことは、内容の知識・歴史的推論の能力、考えを表現するための正しい方法を結び付けないといけない複雑な活動
- ・歴史について書くスキルについては、歴史的推論における説得性の質や歴史の正確さに関するスコアに関係している研究もあるが、異なる知見を出している研究もある

⑤歴史の興味

- ・歴史の興味は、個人特性と特定の状況・環境とのインタラクションの中で生まれてくる

- ・生徒の興味と歴史学習の認知的な側面の関係性に関する研究はほとんど注目されていない
- ・集合的記憶において重要な歴史のテーマを扱った際、12 学年の生徒のナラティブはより民族的なアイデンティティのバイアスが起きやすいということも先行研究からわかっている

■社会文化的なパースペクティブ：学問の歴史と集合的記憶（pp.160-161）

- ・授業の中での歴史的推論は、歴史家だけでなくパブリックヒストリーによっても形成されるし、歴史家やパブリックな領域によって作られたナラティブによっても形成される
- ・生徒は歴史的事実、概念、年表を用いて推論するが、この知識は歴史の授業だけでなく、家やポピュラーカルチャーにおける歴史のナラティブの中からも得ている
- ・国の過去に関する物語には、しばしばナラティブのテンプレートがある
- ・生徒に提示するナラティブのスケール（地域、国家、グローバル）や時代のフレームワークも歴史的思考や歴史的推論に影響を与える

■教室における歴史的推論を高める（pp.161-166）

- ・認知的なパースペクティブと社会文化的なパースペクティブで強調されていることをもとに、教室における歴史的推論を高める方法について整理している

①歴史的推論を支援するための明示的な教授

- ・認知的徒弟制のように、明示的に歴史的推論を教授することの効果が実証されている
→二次概念の使用やモデル化した方略の提示など

②歴史的推論のトリガーとなる課題

- ・真正な課題や問題を提示することは生徒の興味を高めるトリガーの1つ
- ・歴史の専門家の観点から考えると、文書ベースのライティング課題が真正
- ・問いやプロンプトも探究的な課題を構成する重要な要素であり、説明的な問いよりも評価させる問いの方がより強力であることが示されている
- ・生徒にとって真正な問いを提示したり、生徒自身に問いを作らせることも重要
(例:オランダの博物館の秘書に手紙を書く課題や、歴史の中で重要なものは何かを問う課題)

③可視的な表現を用いた歴史的推論の支援

- ・可視的な表現は「思考のためのツール」と考えられ、歴史的推論も助ける
- ・マトリックスやダイアグラムを用いることで、歴史の変化の学習を促進できる

④インタラクションを通じた歴史的推論の支援

- ・著者らは最近、クラス全体での対話的な歴史教授を実践している
- ・歴史的推論の1構成要素を深める問いかけや、他の構成要素に広げる問いかけが特に有効

※考察の節(pp.166-168)は本章を再度説明している箇所のため割愛